



公開された「ゼロエミッションハウス」を案内する二足歩行ロボット「ASIMO」(30日、留寿都村)

環境配慮のモデル住宅公開

警備強化の一方、道内ではサミットと連動し、環境問題をテーマとした催しなどが相次ぐ。札幌市内では三十日、八カ国などの主要な三十五大学が参加する「G8大学サミット」が開幕。経済産業省は同日、後志管内留寿都村で二酸化炭素(CO₂)の排出を抑える国内技術を結集したモデル住宅を公開した。

北大や京大など国内十四大学と英ケンブリッジ大や米エール大といった海外二十一大学が参加。二日間をかけた環境問題を巡る研究面での国際連携など、持続可能な社会の実現に大学が果

「G8大学サミット」も開幕

たすべき役割を議論する。議長を務める小宮山宏東大総長は全体会議で「地球環境問題の解決には、あらゆる学問分野を統合する必要がある」と述べた。最終日の一日には会議内容を「札幌サステイナビリティ宣言」にまとめ、サミット首脳らに提案する。

経済産業省の「ゼロエミッションハウス」は、報道陣の取材拠点「国際メディアセンター」近くに設けられた。三十日には新藤義孝副大臣が家庭用燃料電池による足湯につかり、展示内容をアピールした。